

令和4年度 急変時対応化研修会(動画研修)

アンケート集計結果(ほくとななえ)

n=30 (回収率 34.9 %)

1. 所属機関をお聞かせください。

・医療機関	8	(26.7%)
・介護機関	20	(66.7%)
・その他	3	(10.0%)

2. 現在、従事されている職種をお聞かせください。

・医師	0	(0.0%)
・歯科医師	0	(0.0%)
・薬剤師	5	(13.9%)
・保健師	0	(0.0%)
・看護師	4	(11.1%)
・ケアマネジャー	12	(33.3%)
・相談員	2	(5.6%)
・介護職員	8	(22.2%)
・歯科衛生士	0	(0.0%)
・栄養士	0	(0.0%)
・リハビリスタッフ	2	(5.6%)
・柔道整復師	0	(0.0%)
・マッサージ師・鍼灸師	0	(0.0%)
・福祉用具関連	0	(0.0%)
・事務員	2	(5.6%)
・その他	1	(2.8%)

3. 今回のテーマはいかがでしたか？

・よかった	29	(96.7%)
・どちらともいえない	2	(6.7%)
・よくなかった	0	(0.0%)
・無回答	0	(0.0%)

【ご意見等】

【医療機関】

<看護師>

- ・在宅や施設からの救急搬送される患者さんで、入院となるケースはACPを繋いでいく必要性を感じています。経口摂取が困難だったりすると元いた施設に戻れない、栄養管理をどうするかなど、医療側が抱える課題もあります。高齢者の場合はとくにある程度の予測に基づいて、万が一の場合どうしたいか本人と家族の意向を確認しておくなどの心づもりをしていただくと助かります。
- ・他の介護施設での、緊急時の対応がわかりやすかった。

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 立場、職種が違って観察が重要であることが再度確認できた。
- ・ 利用者に関わる中で変化の気づきや、家族、関係事業所との良好な関係性を構築していくことが大切であると思いました。また実際にDrからの意見を伺うことができ参考になりました。ありがとうございました。

<介護職員>

- ・ 急変時の対応について医師から具体的に手順が示され、大変勉強になりました。
- ・ 緊急時にどう行動するかが分かりやすく説明されており理解しやすかった。また、利用者様のちょっとした異変・違和感に気づき、看護・介護士に報告し連携をとることで未然に防ぐことができることも改めて理解できた。
- ・ 他職種の講演を機会がないので貴重な研修でした
- ・ 急変時の対応について理解でき、あやふやなところは再確認できました。

<施設管理者>

- ・ 施設での対応と居宅での対応、それぞれの事例等を聞き勉強になりました。また、医師からの目線も知ることができて大変良かったと思います。

4. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか？

【具体的な内容等】

【介護事業所】

<ケアマネジャー>

- ・ 医療機関の入院状況、レスパイトについて
- ・ 在宅看取りにおける訪問診療医との連携・入退院時の医療連携等

<介護職員>

- ・ 特になし。
- ・ 認知症の症状別の対応方法など
- ・ 利用者様に望んだ環境(在宅、施設など)にて長く過ごしていく為には生活においてどのような点を気にしていくべきか、声をかけるべきか。パーキンソン病・ALSなどだんだん体が動き辛くなる患者様へのケアで気をつけること、知識。
- ・ 職員育成や認知症ケアについての研修があると嬉しいです。

5. 講師への質問がございましたら、お書き下さい。

<看護師>

- ・ 施設で働いていた時にPEG部から出血が多く救急搬送したが、搬送先の医師がこのくらいで搬送してくるな、と家族の前で言った。夜間なため様子見る事もできず、救急搬送したがアドバイスももらえず、医師の言葉一つで医療連携ができる事、医師のいない所で働く職員の事をもう少し考えてほしいです。